



# 町の人が町を変え始めた！

## そして、町が変わると国が変わる！



### 「自分ごと化」のプロセスを太田市からレポート

群馬県太田市は、2018年度に「ごみの減量化」を「自分ごと化会議」で議論しました。

「雑がみと容器包装プラスチックを意識的に分別すると、家庭ごみが半分に減った！」

そこで詳しく分別の方法などを学び、それを実行することで、多くの委員の家庭でごみが減りました。

「これを20万人の市民に広げれば、太田市のごみは半減する。」

ごみ減量化がテーマの「自分ごと化会議」は2019年3月で終了しましたが、委員として参加した住民が、問題意識を「自分ごと化」し、委員が「太田ごみ減量化プロジェクト」をスタート。市全体に広げようと動き始めています。



### ごみ問題が“自分ごと”に！

## 自分ごと化会議

#### ■ 発見！

処理場の見学、詳しい分別の仕方を「自分ごと化会議」で学び、家庭で実行したら、ごみが半減。意識すればごみは減ることを発見！



#### ■ 太田市全体を「自分ごと化」

会議に参加した住民は約40人、太田市民は約20万人。自分たちの経験をいかに太田市全体に広げるか。太田市全体が住民にとって「自分ごと」に！



#### ■ 自ら動いて広める！

OB/OGで「太田ごみ減量化プロジェクト」をスタート。定期的集まり、広く市民に向けた活動を始めています。



「市主催のまつりでブースを出展！」

### 「太田ごみ減量化プロジェクト」をスタートさせた住民の声

「ごみ減量化については知らないことだらけでしたが、実際に家庭で半分までごみが減ったことから、太田をより良く出来る可能性を感じました。

OB/OGが集まり市民へ広める活動中です。伝える難しさもあり大変ですが行政に任せっぱなしにせず、「自分ごと」として出来る事を頑張りたいと思います。」

### 「自分ごと化」の輪を一緒に広げましょう！

構想日本はこれまでに「自分ごと化会議」を63自治体で126回実施しています。実施主体は行政のみならず、議会や議会の会派、市民団体など様々。誰でも実施できるのです。

ぜひ一緒に「自分ごと化」の輪を広げ、日本の民主主義をアップデートしましょう！

【お問合せ】担当：伊藤、田中、永由 TEL：03-5275-5607 MAIL：info@kosonippon.org



## コーディネーターが語る ～ 自分ごと化会議の現場 ～

私は、2011年から仕分け人を、2015年からは住民協議会のコーディネーターを務めさせていただいている。「自分ごと化会議」は即興劇そのもの。職員との対話や住民同士の対話から新たな気づきが生まれる。説明者は問題意識が高い職員から、あきらめている職員まで様々。無作為に選ばれた住民は、役所はこんな仕事をしているのかと気づき、参加して良かったと満足感も高い。コーディネーターや仕分け人を務める際に心がけていることがある。一つ目は、単純なステレオタイプの議論にならないようにすること。二つ目は、説明担当の職員の行動変容に繋がられるようなメッセージを多くの住民からもらえるように努めること。「自分ごと化会議」の事前事後には、多くの自治体職員が調整に時間をかけている。その労苦を自分ごととして、進化を続ける「自分ごと化会議」にこれからもかかわり続けたい。



足立区勤労福祉サービスセンター  
特命担当部長  
山根 晃氏

### フォーラム レポート

第253回  
2019.10.11 開催



「税も財政も、もう他人事ではすまない。  
今日から自分ごとに」

登壇者に共通していたのは、税や財政を国民が「自分ごと化」するためには、徹底してデータを公開すること、それを国民にとってわかやすく見せることが大事という視点。

構想日本が JUDGIT! を作った理由もまさにそれ！  
ぜひ皆さんも JUDGIT! で財政を「自分ごと化」してください。



慶應義塾大学教授  
土居 文朗

衆議院議員  
玉木 雄一郎

衆議院議員  
越智 隆雄

### スタッフの声

永由 裕大 (プロジェクトリーダー)

#### 【仕分け人回想録】香取市市民事業仕分け

事業仕分け後、たまたまコンビニで市民判定人に出会いました。『市の取組みをわかりやすく整理し、説明していただき、ありがとうございます。』と有難い声をかけていただき、仕分けした事業の今後のあり方などについて盛り上がりました。終わった後も、まちのことを考えたいという熱い気持ちが持続することに仕分けの真髓があると改めて感じます。仕分け人は市民と行政の橋渡し役。今後市民が「もっとまちのことを考えたい」と思える仕分けをしていきたいです。



千葉県香取市「市民事業仕分け」  
実施報告がブログで読めます！➡



### 構想日本の動き

2019年8月～10月

- 住民協議会
  - 北海道 清水町「清水ミライ自分ごと化会議」  
テーマ：総合計画の策定
  - 群馬県 富岡市「とみおか未来会議」  
テーマ：子育て支援の充実（子どもの遊び場整備）
  - 群馬県 太田市「自分ごと化会議 2019」  
テーマ：行政情報のあり方
  - 兵庫県 川西市「かわにし市民会議」  
テーマ：総合戦略の策定
  - 和歌山県 海南市「住民協議会」  
テーマ：コミュニティ施設のあり方
  - 福岡県 大刀洗町「住民協議会」  
テーマ：わたしたちの健康づくり
  - 鹿児島県 志布志市「住民が語る会」  
テーマ：ふるさと住民票でできること
- 事業仕分け
  - 埼玉県 越谷市「外部評価公開ヒアリング」
  - 鳥取県 琴浦町「事業レビュー」
  - 千葉県 香取市「市民事業仕分け」
  - 静岡県 「ふじのくに」土民協働施策レビュー」
  - 兵庫県 淡路市「事務事業の総点検」
  - 岐阜県 羽島市「事業仕分け」
  - 千葉県 市原市「市原市民点検」
  - 滋賀県 大津市「事業レビュー」

事業仕分けや、住民協議会の  
詳細はブログで公開中！



### あなたのチカラをかせてください。

構想日本に直接知恵や経験、時間をご提供いただく他、「会員になる」「寄付をする」ことでご参加、ご支援ください！

会員種別	個人会員	学生会員	法人会員A	法人会員B	法人会員C
入会金	2千円	2千円 <small>(web申請いただく不要となります。)</small>	30万円	30万円	5万円
年会費	1万円	2千円	300万円	50万円	10万円

日本の現場には、チカラがあります。この「現場のチカラ」を結集することで、日本をもっと素晴らしい国へ変えていく。これが私たち「構想日本」のめざすものです。

<http://www.kosonippon.org/info/index.php>



### 編集後記

「自分ごと化」は、正しい理解のもと様々なことから自らの身に置き換えて考える“想像力”なのかと思います。「頭の善し悪しというのは、学校の勉強ができるかどうかではなく、“想像力”があるかないかということ」という話を思い出しました。身近な問題から、原発、基地問題、世界で起きてること、自分ごとにしていきたいと思っています。